

本ガイドに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。All Rights Reserved, Copyright ©富士通株式会社 1998,1999

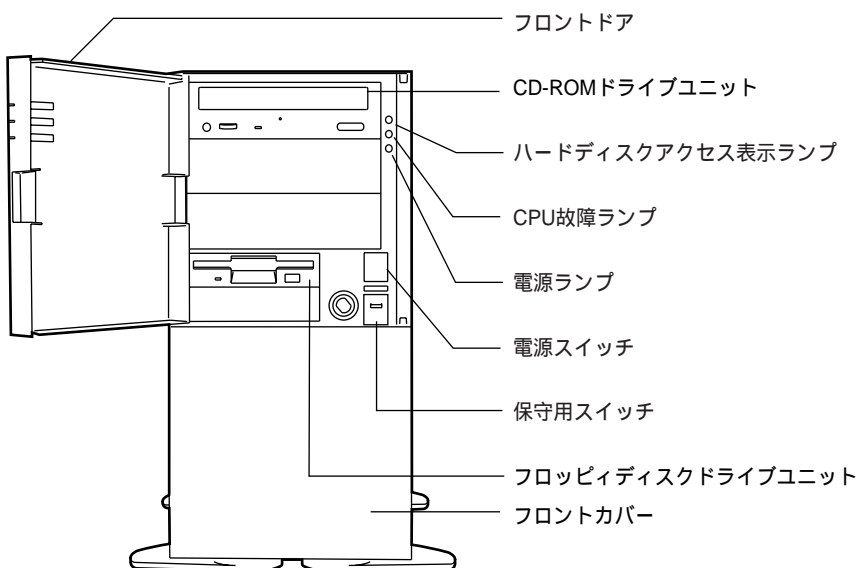
## 設置から運用まで

本サーバには、OSのインストールから必須のソフトウェア、ドライバ類を簡単にインストールすることができる「ServerWizard」が添付されています。ここでは、ServerWizardを使ってセットアップするときの流れを示します。

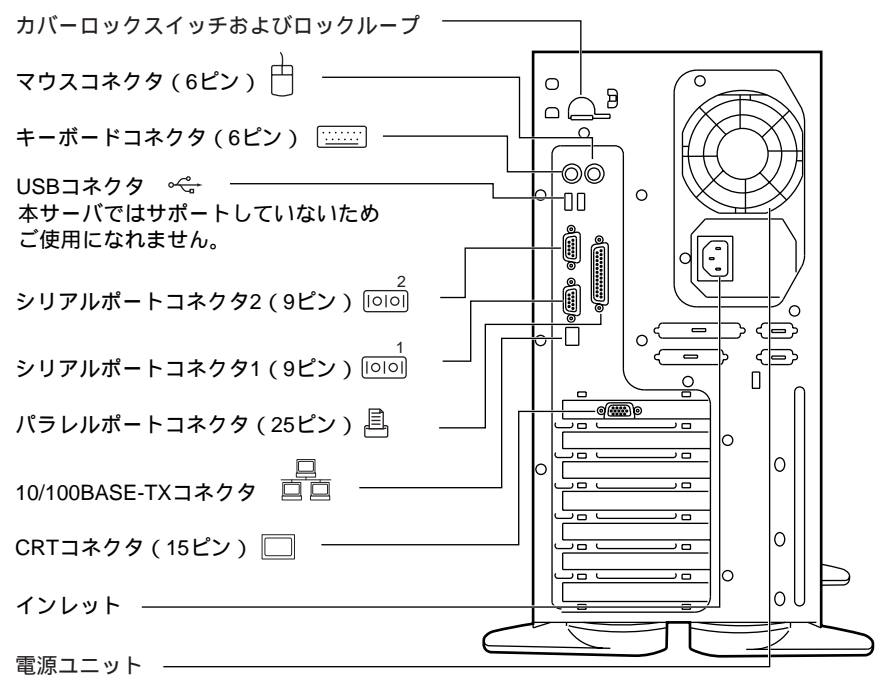
- 1 **梱包物 / 添付品を確認する**  
 ↳ 「第2章 設置と接続」の「2.1 梱包物の確認」
  - 2 **設置場所を確認する**  
 ↳ 「安全上のご注意」、「第2章 設置と接続」
  - 3 **準備する**  
 事前に以下のものを用意してください。  
 ・ServerWizardのCD-ROM (以降ServerWizard CDと記述します)  
 ・セットアップディスク (2枚)  
 ・工具 (プラスドライバー)  
**重要** 本サーバに添付の以下のマニュアルを必ず準備してください。  
 『ServerWizardでインストールしよう!』  
 『ServerWizardソフトウェアガイド』
  - 4 **内蔵オプションを取り付ける**  
**重要** ServerWizardを使ってセットアップするときは、事前に取り付けられる内蔵オプションは決まっています。事前に取り付けることができない内蔵オプションは、ServerWizardを終了してから、取り付けてください。  
 ↳ 『ServerWizardソフトウェアガイド』の「第1章 ServerWizard V1.0.0の概要」  
**注意** 内蔵オプションを取り付けるときは、取り付ける位置や順序、他のオプションとの同時搭載時の注意があります。参照箇所を熟読のうえ、以降の手順を実施してください。  
 ↳ 「第5章 内蔵オプションの取り付け」、「各オプション装置の取扱説明書」  
**重要** 取り付けるオプション (PCIカード / ISAカード) の有無によって、設置手順が異なります。以下の手順にしたがって、取り付けてください。
- | 取り付ける内蔵オプションの中にPCIカード / ISAカードがない場合 |   |
|-------------------------------------|---|
| <b>1</b>                            | 設置 / 『5 周辺機器を取り付ける』に進む<br>決定した設置場所に、本サーバを設置します。<br>↳ 「第2章 設置と接続」  |
| 取り付ける内蔵オプションの中にPCIカード / ISAカードがある場合 |   |
| <b>1</b>                            | 設置 / 仮接続<br>決定した設置場所に、本サーバを設置します。ディスプレイ、キーボード、マウスを接続します。<br>↳ 「第2章 設置と接続」   |
| <b>2</b>                            | 電源の投入 / ServerWizard CDのセット<br>電源を投入して、POST中にServerWizard CDをセットします。<br><b>注意</b> 誤ってハードディスクから起動されないように、安全のため、セットアップディスク#1をフロッピーディスクドライブにセットしてから、電源を投入してください。その後、必ずServerWizard CDをセットしてください。<br>↳ 「第3章 基本的な操作」 |
| <b>3</b>                            | BIOSセットアップユーティリティ、ICUの実行<br>PCIカードに割り当てる資源をBIOSセットアップユーティリティで、ISAカードに割り当てる資源をICUで設定した後、ICUで確認します。ICUはServerWizardから起動します。<br>↳ 「第4章 セットアップ」の「4.4 BIOSセットアップユーティリティを使う」、または「4.5 ISAコンフィグレーションユーティリティ (ICU)を使う」   |
| <b>4</b>                            | 電源の切断 / ディスプレイとキーボードの取り外し<br>電源切断後、コンセントから電源ケーブルを抜き、ディスプレイとキーボードを取り外します。<br>↳ 「第2章 設置と接続」   |
| <b>5</b>                            | 内蔵オプションの取り付け<br>カバーを取り外し、オプションカード、オプション装置を取り付けます。<br>↳ 「第5章 内蔵オプションの取り付け」 / 『各オプション装置の取扱説明書』  |
| <b>6</b>                            | カバーの取り付け / 『5 周辺機器を取り付ける』に進む  |

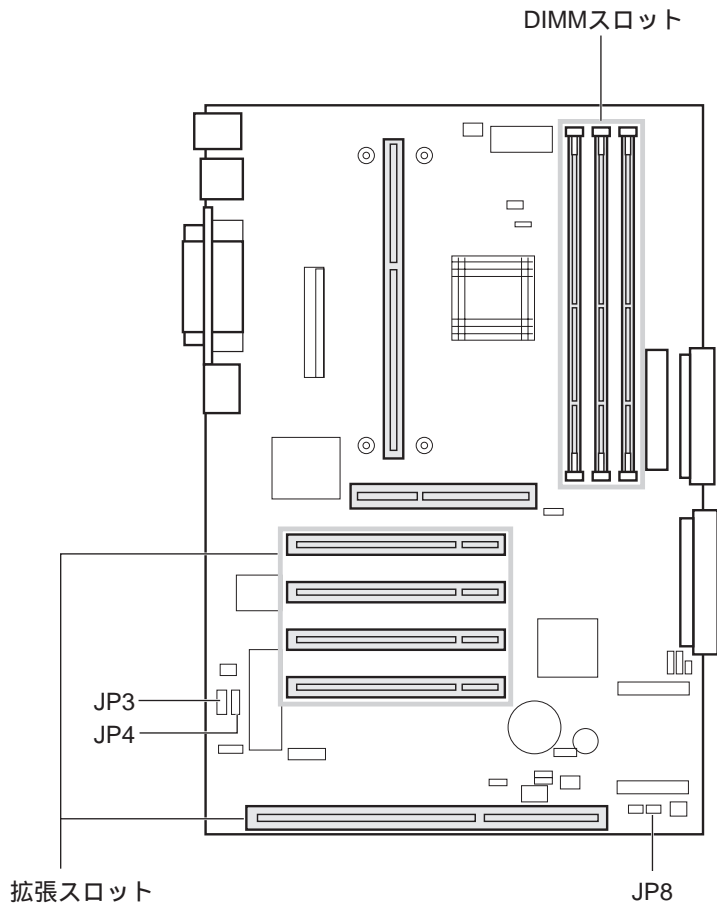
- 5 **周辺機器を取り付ける**  
ディスプレイ装置、キーボード、マウスを本体装置に接続します。その他の周辺機器を取り付けます。  
↳ 「第2章 設置と接続」の「2.3 接続方法」
- 6 **各機器の取り付けを確認する**  
設置した装置にぐらつきがないこと、ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
- 7 **電源の投入 / ServerWizard CDのセット**  
電源を投入して、POST中にServerWizard CDをセットします。  
取り付けたいメモリ総容量と同じ容量がディスプレイに表示されること、およびシステムが正常に起動することを確認します。  
**注意** 誤ってハードディスクから起動されないように、安全のため、セットアップディスク#1をフロッピーディスクドライブにセットしてから、電源を投入してください。その後、必ずServerWizard CDをセットしてください。  
↳ 「第3章 基本的な操作」の「3.2 電源を入れる」
- 8 **BIOSセットアップユーティリティを設定 / 確認する**  
**注意** 取り付けたいオプション装置によって、BIOSセットアップユーティリティの設定値を、確認または変更する必要があります。  
↳ 「第4章 セットアップ」の「4.4 BIOSセットアップユーティリティを使う」  
『各オプション装置の取扱説明書』
- 9 **ServerWizardを実行する**  
ServerWizardを実行します。ServerWizardを実行すると、OSのインストールおよびシステムに必須のソフトウェア (Servervisorなど) がインストールされます。  
↳ 『ServerWizardでインストールしよう!』  
『ServerWizardソフトウェアガイド』  
「6.6 Servervisor / Intel LANDesk (R) Server Manager について」および「Servervisorのオンラインマニュアル」
- 10 **その他の内蔵オプションを取り付ける**  
ServerWizard実行前に取り付けられなかった内蔵オプションを取り付けます。  
『4 内蔵オプションを取り付ける』を再度実行してください。
- 11 **UPS (無停電電源装置) の取り付け**  
**条件** UPSを接続する場合  
↳ 『UPSの取扱説明書』
- 12 **システム設定情報を退避する**  
「BIOS Environment Support Tools」を用いて、システムの設定情報を退避するとともに、コンフィグレーションシートに装置の運用状態を記入するようにしてください。  
記入したコンフィグレーションシートは、紛失しないように大切に保管してください。  
システムに異常が発生したときやオプションの増設時に参考になります。  
↳ 「4.6 BIOS設定情報およびICU設定情報の退避 / 復元」  
「付B.1 コンフィグレーション・シート」
- 13 **運用開始**

## サーバ本体前面

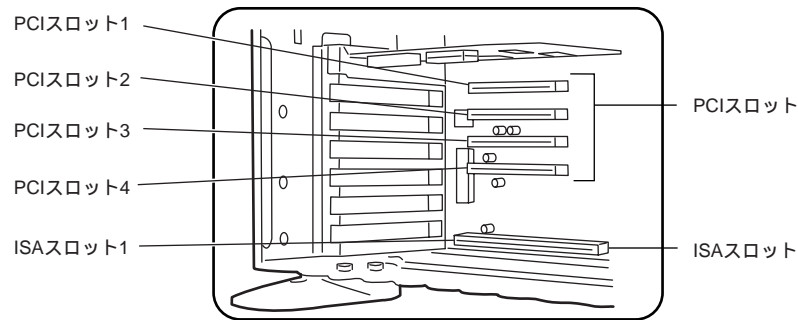


## サーバ本体背面





## 拡張スロット



### 拡張カードの搭載条件

#### 搭載枚数制限

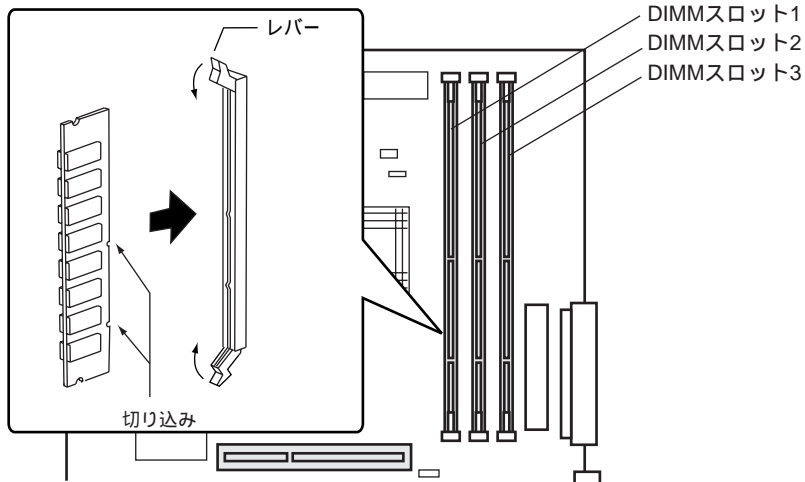
搭載カード	バス	搭載枚数	備考
SCSIアレイコントローラカード SCSIアレイコントローラカード	GP5-141A PCI GP5-142 PCI	最大2 最大1	内蔵・外付けアレイシステム用 内蔵アレイシステム用、 GP5-143と同時搭載不可 内蔵アレイシステム用、 GP5-142と同時搭載不可 内蔵・外付けSCSI装置用
SCSIアレイコントローラカード	GP5-143 PCI	最大1	
SCSICカード	GP5-125 PCI	最大3 合計最大3	
LANカード(10BASE-5/2T) LANカード(100BASE-TX /10BASE-T)	GP5-181 PCI GP5-182 PCI	最大3 最大3	OSがNetWareの場合は最大1、 FMV-165と同時搭載不可 FMV-166と同時搭載不可 FMV-167と同時搭載不可
LANカード(100BASE-TX /10BASE-T)	GP5-184 PCI	最大3	
ATM-LANカード	FMV-187 PCI	最大1	
MSLキット	FMS-193 PCI	最大1 合計最大3	
RS-232Cカード	GP5-162 PCI	最大2	OSがNetWareの場合は最大1、 FMV-165と同時搭載不可 FMV-166と同時搭載不可 FMV-167と同時搭載不可
ISDNカード	GP5-165 PCI	最大2	
通信カードV/X	GP5-163 PCI	最大2 合計最大3	
ISDN接続G3/G4FAX通信カード サーバモニタモジュール	GP5-161 PCI GP5-SM102 PCI	最大4 最大1 合計最大4	GP5-162と同時搭載不可 GP5-165と同時搭載不可 GP5-163と同時搭載不可
RS-232Cカード	FMV-165 ISA	最大1	
ISDNカード	FMV-166 ISA	最大1	
通信カードV/X	FMV-167 ISA	最大1	
音声処理カード	FMV-FH718 ISA	最大1	
FAXモデムカード	FMV-FX531 ISA	最大1 合計最大1	

## DIMMスロット

DIMMスロットには、拡張RAMモジュールを増設することができます。

- ・拡張RAMモジュール32MB(GP5-RM32H)
- ・拡張RAMモジュール64MB(GP5-RM64H)
- ・拡張RAMモジュール128MB(GP5-RM12H)
- ・拡張RAMモジュール256MB(GP5-RM25H)

拡張RAMモジュールの取り付けは、コンタクト部分の切り込みで向きを判断して、DIMMスロットに正しく挿入してください。レバーが閉じます。レバーが完全に閉じない場合は、指で押してください。



## コンフィグレーションジャンパ

ジャンパ番号	ジャンパの設定 (ショートの設定)
JP3	1-2 BIOS起動時にパスワードによるセキュリティ機能を有効にする 2-3 BIOS起動時にパスワードによるセキュリティ機能を有効にしない (工場出荷設定値)
JP4	2-3 (工場出荷設定値 / 変更不可)
JP8	1-2 (工場出荷設定値 / 変更不可)

### PCIスロットの搭載位置とIRQ制限

・各拡張カードは表の左側の拡張カードから優先して使用し、数字の順にスロットを使用してください。

スロット	サーバモニタモジュール GP5-SM102	SCSIアレイ コントローラ カード		SCSICカード GP5-125	LANカード GP5-181 GP5-182 GP5-184 ATM-LANカード FMV-187 MSLキット FMS-193	その他の PCIカード
		GP5-142 GP5-143 (*)	GP5-141A			
PCI1	-	1	1	1	1	1
PCI2	-	2	2	2	2	2
PCI3	-	-	3	3	3	3
PCI4	1	-	-	-	4	4

- : 搭載不可を示す  
\*) GP5-142とGP5-143は同時搭載不可

- ・OSをインストールするハードディスクユニットを接続したSCSICカード / SCSIアレイコントローラカードは、PCIスロット1を使用してください。
- ・ブートデバイスが接続されていないSCSICカード(GP5-125)は、SCSI Selectユーティリティで「Advanced Configuration Option」の「Host Adapter BIOS (Configuration Utility Reserves BIOS Space)」を「Disabled」に設定してください。
- ・SCSICカード(GP5-125)は、内蔵と外付けを同時に接続することはできません。
- ・SCSIアレイコントローラカード(GP5-143)を使用する場合は、サーバ本体に取り付ける前にSCSICアレイコントローラカード(GP5-143)のJP10がオープンに設定されていることを確認してください。
- ・PCIスロットのIRQの共有について
  - オンボードLANは、他の拡張カードとIRQを共有できません。
  - SCSIアレイコントローラカードは、SCSICアレイコントローラカード同士でIRQを共有できます。
  - SCSIアレイコントローラカードは、他の拡張カードとIRQは共有できません。
- ・LANカードおよびオンボードLANのIRQを共有するときは、ご使用になるOS毎に注意事項があります。
  - [WindowsNT Server 4.0またはSBS 4.0の場合]
    - LANカード同士(GP5-181/GP5-182/GP5-184)は、IRQを共有できます。ただし、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
    - オンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
    - ATM-LANカード(FMV-187)は、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
  - [NetWare3.2JおよびIntranetWareの場合]
    - LANカード同士(GP5-181/GP5-182/GP5-184)は、IRQを共有できます。ただし、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
    - オンボードLANは、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
    - ATM-LANカード(FMV-187)およびMSLキット(FMS-193)は、他の拡張カードおよび装置とIRQを共有できません。
- ・パラレルポート、シリアルポートを使用していないときはBIOSセットアップユーティリティで該当ポートを「Disabled」に設定することによって、そのIRQを流用することができます。

# 内蔵オプションの設定

## ストレージベイと内蔵オプション

本サーバは、2種類のストレージベイに、それぞれ以下の内蔵オプションを取り付けることができます。

ストレージベイ	内蔵オプション
5インチストレージベイ	内蔵CD-ROMドライブユニット (標準搭載) 内蔵DATユニット 内蔵光磁気ディスクユニット 内蔵1/4インチCRMTユニット(SLR5規格) 内蔵TRAVAN NSユニット 内蔵ハードディスクユニット(SCSI)
3.5インチストレージベイ	内蔵ハードディスクユニット (IDE) 内蔵ハードディスクユニット (SCSI)

## ストレージベイとSCSI-ID

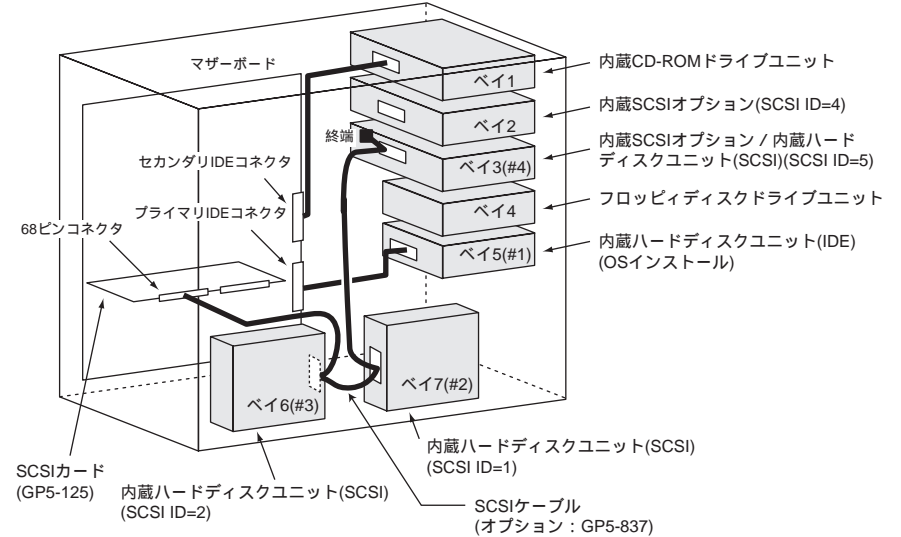
内蔵オプションのうち、内蔵SCSIオプションは、ストレージベイに取り付けるまえに下表のとおり、対応したSCSI-IDに設定してください。

ストレージベイ	ベイ番号	SCSI ID	標準搭載の内蔵オプション
5インチストレージベイ	1	-	内蔵 CD-ROMドライブユニット (IDE) を標準搭載
	2	4	
	3	5	内蔵ハードディスクユニット(SCSI)を搭載可能
3.5インチストレージベイ	4	-	フロッピーディスクドライブユニットを標準搭載
	5	0	内蔵ハードディスクユニットを搭載可能
	6	2	内蔵ハードディスクユニット(SCSIのみ)を搭載可能
	7	1	内蔵ハードディスクユニットを搭載可能

## 内部ケーブルの接続

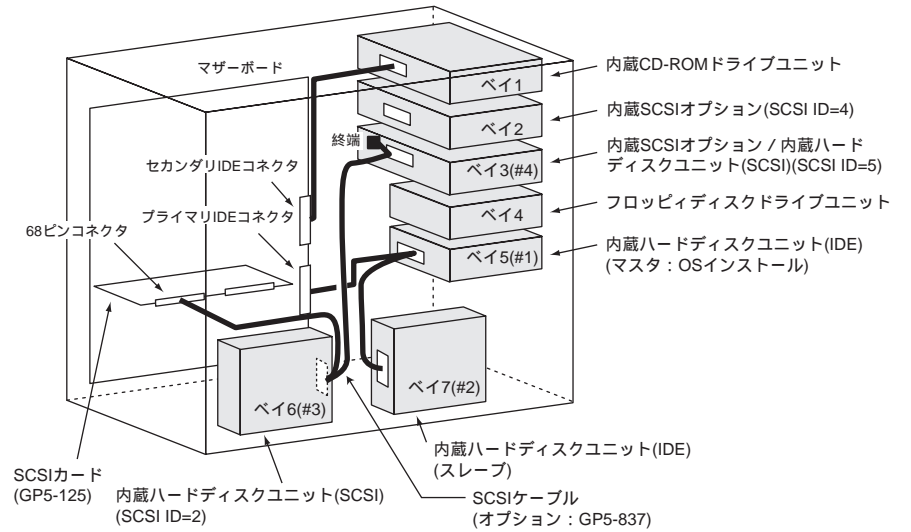
内部ケーブルを、ストレージベイに取り付けられた内蔵オプションにそれぞれ接続します。  
各タイプの接続形態を以下に示します。

内蔵ハードディスクユニット(IDE)1台 / 内蔵ハードディスクユニット(SCSI)3台の場合



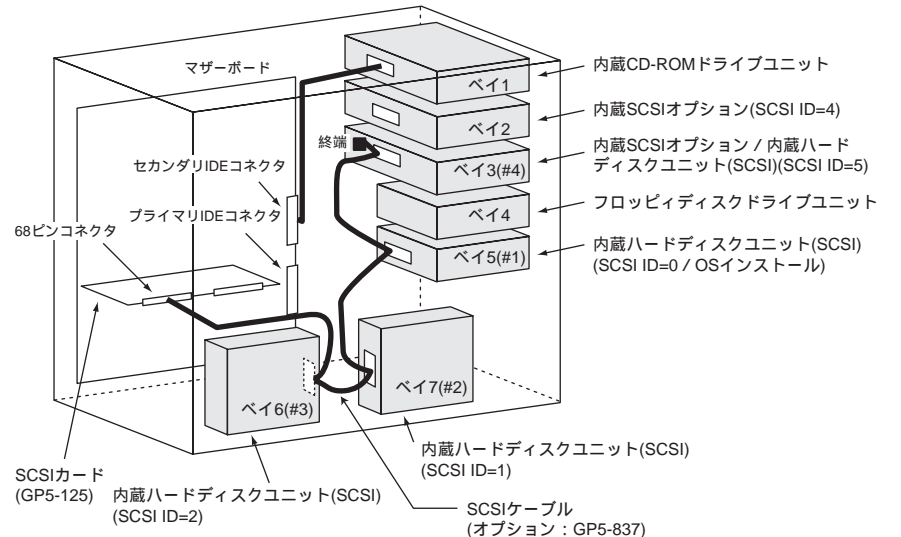
ベイ番号の後の#付き数字はハードディスクユニットの搭載順序を示す。

内蔵ハードディスクユニット(IDE)2台 / 内蔵ハードディスクユニット(SCSI)2台の場合



ベイ番号の後の#付き数字はハードディスクユニットの搭載順序を示す。

内蔵ハードディスクユニット(SCSI)4台の場合

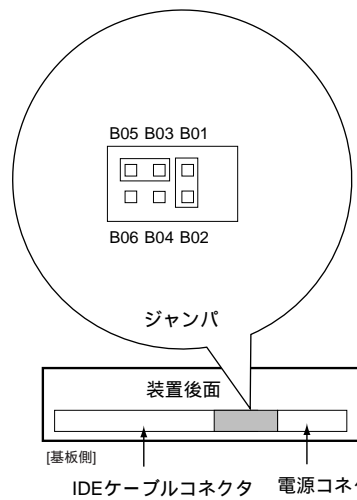


ベイ番号の後の#付き数字はハードディスクユニットの搭載順序を示す。

# 内蔵ハードディスクユニット

## 内蔵ハードディスクユニット(IDE)の設定

内蔵ハードディスクユニット(IDE)は、取り付けるベイによって、マスター/スレーブの設定を確認、および変更する必要があります。



ジャンパ設定	設定内容
	マスタードライブ (1台目搭載時の設定)
	スレーブドライブ (2台目搭載時の設定)
	ケーブルセレクト (設定禁止)

## 内蔵ハードディスクユニット(SCSI)の設定

オプションの内蔵ハードディスクユニット(SCSI)を取り付ける場合は、以下の2箇所の設定を確認してください。

- ・SCSI-IDの設定(搭載ベイによって設定)
- ・SCSI終端抵抗(必ず終端なしを設定)

取り付けるベイによって、SCSI-IDは以下のとおり設定してください。

搭載ベイ	SCSI-ID	備考
ベイ2	4	ベイ3に内蔵光磁気ディスクユニット搭載時のみ使用
ベイ3	5	
ベイ5	0	
ベイ6	2	
ベイ7	1	

## BIOSセットアップユーティリティ

電源投入またはリセットし、POSTが終了すると、画面に「Enter Setup, Press Ctrl\_Alt\_Esc Key」が表示されます。  
 ここで[Ctrl]+[Alt]+[Esc]キーを押すと、BIOSセットアップユーティリティが起動されます。  
 以下に工場出荷設定値を示します。

Disk Drivesメニュー	
Floppy Drive A	: 1.44MB 3.5-inch
Floppy Drive B	: None
LS-120 drives as	: Normal
IDE Primary Channel Master	
Type	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
DMA Transfer Mode	: Auto
IDE Primary Channel Slave	
Type	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
DMA Transfer Mode	: Auto
IDE Secondary Channel Master	
Type	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
DMA Transfer Mode	: Auto
IDE Secondary Channel Slave	
Type	: Auto
Hard Disk Size > 504MB	: Auto
Hard Disk Block Mode	: Auto
Advanced PIO Mode	: Auto
Hard Disk 32 Bit Access	: Enabled
DMA Transfer Mode	: Auto

Onboard Peripheralsメニュー	
Serial Port 1	: Enabled
Base Address	: 3F8h
IRQ	: 4
Serial Port 2	: Enabled
Base Address	: 2F8h
IRQ	: 3
Parallel Port	: Enabled
Base Address	: 378h
IRQ	: 7
Operation Mode	: Standard
ECP DMA Channel	: -(表示のみ)
Onboard Device Settings	
Floppy Disk Controller	: Enabled
IDE Controller	: Both
PS/2 Mouse Controller	: Enabled
USB Host Controller	: Disabled
USB Legacy Mode	: Disabled
SMBUS Interrupt (IRQ9)	: Enabled
Onboard Ethernet Chip	: Enabled

Power Managementメニュー	
Power Management Mode	: Enabled
IDE Hard Disk Standby Timer	: OFF
System Sleep Timer	: OFF
Sleep Mode	: Standby
Power Switch < 4sec.	: Power Off

Boot Optionsメニュー	
Boot Sequence	
1st	: IDE CD-ROM
2nd	: Floppy Disk
3rd	: Hard Disk
First Hard Disk Drive	: IDE
Fast Boot	: Disabled
Silent Boot	: Disabled
Num Lock After Boot	: Enabled
Memory Test	: Enabled
Partial Test	: Enabled
Release All Blocked Memory	: Disabled
Configuration Table	: Enabled
Boot from LANDesk(R) Service Agent	: Disabled

( 続き )

Date and Timeメニュー	
Date	: 現在の日付が表示
Time	: 現在の時刻が表示

System Securityメニュー	
Setup Password	: None
Power-on Password	: None
Operation Mode	: Normal
Disk Drive Control	
Floppy Drive	: Normal
Hard Disk Drive	: Normal

System Event Logメニュー	
System Event Logging	
Event Log BIOS Version	: イベントログBIOSの版数表示
Total Event Log Number	: 格納済みイベントログ数表示
Remain of Event Log Area	: 残りイベントログ格納領域%表示
Event Logging	: Enabled
Clear Event Log	: Disabled
->View Event Logs	: イベントログビュー - 起動
Event Control	
Temperature/Voltage/Fan	: Enabled
CPU Fan	: Enabled
ECC	: Enabled
PCI	: Enabled
I/O Check	: Enabled
Critical Event Process	
Stop POST After CPU or Memory Reduction	: Disabled
Halt System If No CPU or Memory Available	: Enabled
Non-stop mode During POST	: Disabled
Threshold Setting	
CPU Warning Temperature	: 67
CPU Fatal Temperature	: 72
System Temperature	: 51
System Voltage	: 10

Advanced Optionsメニュー	
Memory / Cache Option	
Internal Cache (CPU Cache)	: Enabled
External Cache	: Enabled
Cache Scheme	: キャッシュ方式を表示
Memory at 15MB-16MB Reserved for	: System
Memory Parity Mode	: ECC+Scrubbing
PnP / PCI Options	
PCI IRQ Setting	: Manual
PCI Slot1	: --
PCI Slot2	: --
PCI Slot3	: --
PCI Slot4	: --
Onboard Lan	: 10
AGP	: --
PCI IRQ Sharing	: Yes
VGA Palette Snoop	: Disabled
Graphics Aperture Size	: 64
Plug and Play OS	: No
Reset Resource Assignments	: No
CPU Frequency	
Bus Frequency	: 66MHz ( 300MHz /366MHzプロセッサ搭載時 )
	: 100MHz ( 350MHz /400MHz /450MHz /500MHz /550MHzプロセッサ搭載時 )
CPU Multiple	: 3.5 ( 350MHzプロセッサ搭載時 )
	: 4 ( 400MHzプロセッサ搭載時 )
	: 4.5 ( 300MHz /450MHzプロセッサ搭載時 )
	: 5 ( 500MHzプロセッサ搭載時 )
	: 5.5 ( 366MHz /550MHzプロセッサ搭載時 )
Processor Speed	: プロセッサ動作周波数
Processor Serial Number	: Disabled
Chipset Options	
CAS Latency	: 3
LAN Wakeup Power Control by	: BIOS
PCI Latency Timer	: 20h
AGP Bridge Latency Timer	: 40h